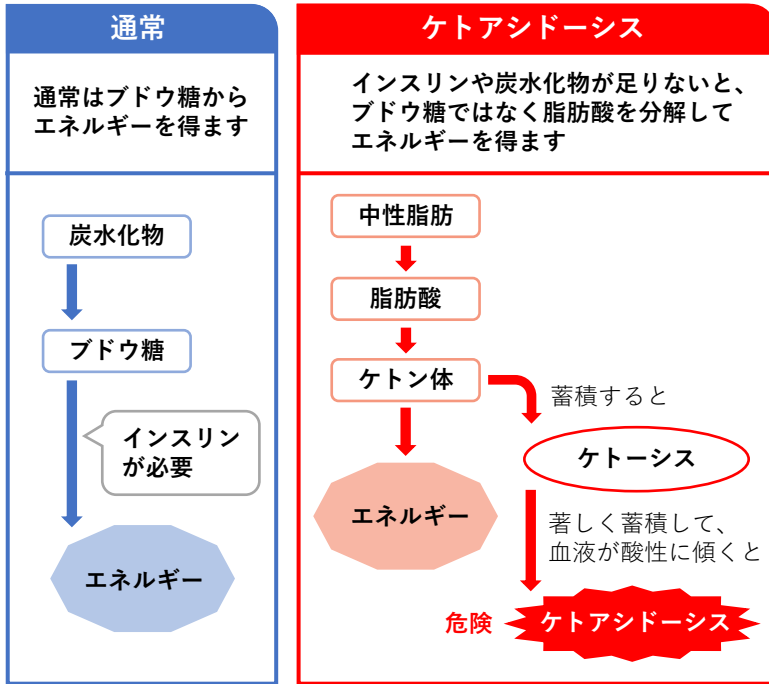


ケトアシドーシス

● ケトアシドーシスとは



通常、ケトアシドーシスは高血糖を伴いますが、SGLT2阻害薬の服用中は、高血糖がみられなくても症状が現れることがあります。

以下の症状が現れた場合は、早急に医療機関を受診してください。

吐き気

食欲不振

腹痛

呼気の甘い匂い

激しいのどの渇き

息切れ

異常な眠気

意識の低下

脱力感

● ケトアシドーシスが起きやすいのはどんなとき？

- ✓ 急激にインスリンの量が減ったとき（注射忘れ、デバイスの故障など）。
- ✓ 感染症などで、熱がある/下痢・嘔吐などがある/食事が摂れないなどの、**シックデイのとき**（☞「シックデイ」の説明書を参照）。
- ✓ **過度な糖質制限（炭水化物ダイエット）をしているとき。**
- ✓ 脱水症状があるとき（☞「脱水」の説明書を参照）。
- ✓ 多量の飲酒をしたとき。
- ✓ 過度な有酸素運動をしたとき。



● 普段の生活で気をつけたいこと

- ✓ **特に1型糖尿病の患者さんは、絶対にインスリン注射を中止しないでください。**
- ✓ 糖尿病の患者さんは、シックデイのときにはSGLT2阻害薬を休薬し、体調が戻ってから再開してください。糖尿病ではない患者さんは、シックデイのときはどうしたら良いか、事前にかかりつけの医師や薬剤師に相談しておきましょう。
- ✓ **自己判断で過度な糖質制限をおこなわないでください。**
- ✓ 長時間の有酸素運動の際には、炭水化物の摂取量を増やすなどの調節が必要となる場合もありますので、事前にかかりつけの医師や薬剤師に確認しておきましょう。